仕様

周波数	400 Khz
ビーム角	1° * 2°
ビーム数	512(max 1024)
スワス幅	8°-150°
測深レンジ	0.2-200 m
測深分解能	7.5 mm
作業モード	等角·等距離·高密度
最大ピング数	30 Hz, Adaptive
信号種類	CW
深度定格 (ソナーヘッド)	50 m
ロール安定化	±10°
内蔵機首方位精度	0.08°(2 m base line); 0.05°(4 m base line)
Pitch/Roll精度	0.02°
位置精度	H: ±8 mm+1 ppm; V: ±15 mm+1 ppm
ヒーブ精度	5 cm or 5%
表層水中音速度計精度	±0.02 m/s
表層水中音速度計解像度	0.001 m/s
音速範囲	1375~1900 m/s
入力電圧	AC: 110-240V; DC: 10-32V
消耗電力	60W
トランスデューサ寸法	Φ228 mm*175 mm
トランスデューサ重量	5.9 kg(air)
デッキユニット寸法	230 mm*180 mm*80 mm
デッキ単体重量	2.6 kg(air)
使用環境	+4°C~+40°C
保管時	-20°C~+60°C



Headquarters:
GEOSOLUTION I GÖTEBORG AB
Jarnbrotts Prastvag 2
SE-42147 - Vastra Frolunda
Gothenburg, Sweden info@satlab.com.se

Regional Offices: Warsaw, Poland Jičín, Czech Republic Ankara, Turkey Scottsdale, USA Hong Kong, China Dubai, UAE





HydroBeam M4

ポータブルマルチビームエコーサウンダ



HydroBeam M4

HydroBeam M4 は、SatLab によって実現された、独創的でコンパクトなポータブルマルチビーム海底地形システムです。頻繁な校正を必要とせずに優れた精度を誇るため、軽量の操作に理想的な選択肢となります。

Iそのコンパクトな設計は、インテリジェントな機能と円形トランスデューサーと相まって、USV、AUV、ROV などのさまざまなプラットフォームに簡単に導入できるようになります。この多用途性により、ユーザーは、いつでもどこでも迅速に正確な測定を行うことができ、従来のマルチビーム システムの制約から解放されます。さらに、静かな湖や曲がりくねった川から、賑やかな港、港、ターミナル、複雑な水路に至るまで、さまざまな環境で無人ミッションの信頼性の高い安定した運用を保証します。

システム概要図

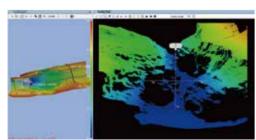


サイズ

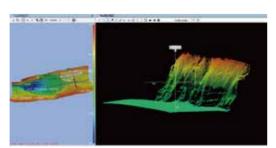




サンプルデータと作業成果







水中構造物調查

主な特徴



多様な互換性

Φ228mmのコンパクトな円筒形状と5.9kgの軽量設計により、さまざまな無人プラットフォームに容易に対応し、輸送やさまざまなシーンへの展開が簡単です。



信頼できるパフォーマンス

最大 7.5 mm の解像度で最大 1024 本の高密度ビームをサポートし、さまざまなタスクや条件にわたって高いパフォーマンスと精度を維持します。IHOのスペシャルグレードおよびUSACEの標準グレードを上回る。



リアルタイムのロール安定化

リアルタイムのロール安定化により、マルチビーム掃引が最大化され、作業効率が向上します。



シームレス統合,軽量コンパクト

トランスデューサに INS および SVS が組み込まれているため、複雑な姿勢校正が不要になり、セットアップが簡素化され、ダウンタイムが削減されます。



高効率

スキャン幅を $8^{\circ} \sim 150^{\circ}$ まで調整可能で、最大 7.5 倍の深度範囲をカバーできるため、調査の繰り返しが減り、全体的な効率が向上します。



インテリジェントな操作

機能的でスマートな調査ソフトウェアにより、オペレーターは調査の進行状況を監視し、手動操作を減らすことができ、サードパーティのトップサイドプロセッサまたはサードパーティのよく知られたデータ収集および後処理ソフトウェアへのアクセスをサポートします。



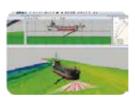
規格への厳格な準拠

IHO別注、CHS限定オーダー&USACE新作を超えます。

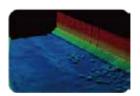
応用







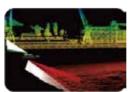
浚渫プロジェクト



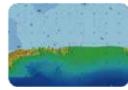
水路調査



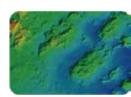
水中考古学



港湾調査



貯水池貯留調査



環境研究



救出とサルベージ